



勝山

★勝山漢字HP掲載中★

卒業するまでに、逆上がり、二重跳び50回以上、漢字は毎回100点とれる子に

Tel:0867-44-3141 Fax:0867-44-3142 Mail:katsuyama_es@sch.city.maniwa.okayama.jp

小学校で大切なこと
学校が好き
学び方がわかる
人とうまく関われる
コロナに勝つ!!

地域とともにある学校

～社会総がかりでの教育の実現～【コミュニティスクール導入に向けて】

少子化が進み、令和 8 年度の本校の全校児童数は今より 30 名少ない 183 名の予定です。減少率は実に 14%。真庭市内の新入児童数は 347 名 (R3) から 225 名 (R8) に一気に 35% 減少。数字だけを見ると、明るい未来が描けません。私たちは勝山小学校のより良い未来に向かう設計図をどう描けば良いのでしょうか。■今、全国各地で導入が進むコミュニティスクール。地域の生き残りをかけ社会総がかりで学校に関わり、より良い未来を描こうとしています。子どもや学校の抱える課題の解決、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、学校だけに任せていたのでは限界があります。社会総がかりでの教育の実現が不可欠なのです。地域でどのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを地域住民等と共有し、地域と一体になって子どもたちを育てる「地域とともにある学校づくり」を進める必要があるのです。■真庭市では、「地域とともにある学校づくり」を一歩進めるために、令和 5 年度から市内全ての学校でコミュニティスクールを導入する予定です。すでに 2 つの学校がコミュニティスクールを導入して成果をあげています。勝山小学校でも令和 5 年度の導入をめざします。

信じる



支える

ささえる手は多いほど良い。学校も同じです。

たすけてください。お願いします。

コロナ禍のため、PTA総会、地区懇談会が開催されておらず、学校の状況が正しく伝わっていないことを危惧しています。学校だより 26 号で「コロナ禍で、不登校の激増と大幅な体力低下が懸念される」とお伝えしましたが、本校ではコロナを理由に体力低下と不登校の激増を招くわけにはいきません。生徒指導上の課題も非常に大きいです。勝小児童のより良い成長を促すため、保護者のみなさまのご理解とご支援が欠かせません。PTA 執行部と十分に連携し、適切な時期に次のような会を今後開催する予定です。

①「学校状況説明会(仮称)」 ②「学校・PTA・地域連携座談会」 ③「コミュニティスクール勉強会」

勝山小学校を必ず今以上によくする。胸を張って地域に誇れる勝山小学校にするために、一人でも多くの参加者を募りたいです。学校をよくするきっかけは、まず、参加すること。学校から提供された情報を元にして、「学校がより良くなるような情報の拡散」をすることです。コミュニティスクール導入を大きなチャンスにできるよう学校としても精一杯がんばってまいります。

裏面にコミュニティスクール導入に向けての勝山小学校の現在地を資料にしています。

コミュニティスクール導入への大きな課題

～社会で通用する人間を育てるために～

	見守り隊・学校支援地域本部	支援ボランティア登録者	健全育成地域組織	リーダー・地域コーディネーター	地区懇談会	特徴
A校	30名 支援地域本部なし ▲	58名	● 連合町内会	● _α 連町会長	●	町内会の強固な連携があり、学校の困り感を全面的にバックアップ。 すぐにでもコミュニティスクール導入可能
B校	58名 2010年～ ●	100名	●	● コーディネーター	●	歴史のあるソフトな健全育成地域組織が、学校の困り感を全面的にバックアップしている。常に安定。 すぐにでもコミュニティスクール導入可能
C校	36名 2003年～ ●	80名	● 園小中組織	● コーディネーター	● 年2回	園小中の保護者のつながりが強み。18年間にわたり地域が総合学習やクラブをサポート（日本文化） コミュニティスクール導入済み
勝山	組織なし▲ ※ボランティア9名 名簿登録承諾者	3名	▲	▲	▲	なぜ、未だにこんな状況なのかわかりませんが、この現実を知り一気にトップランナーに躍り出ましょう。 連携は弱いですが、潜在能力は非常に高く、意識改革が進み核になる組織が育つと他校の模範となる取組が可能。 今のままではコミュニティスクール導入困難

※A・B・C校では、問題が起きた時「学校・保護者・地域」の連携がスムーズで課題の解決が早い。

コミュニティスクール導入のカギ・・・地域とともに

- 少なくとも、見守り隊、学校支援ボランティア等の「ゆるやかな応援組織」が必要。
- コーディネーターが必要。ボランティアを頼むとき、コーディネートを学校がしている。
- PTA+地域の方の参加で地区懇談会開催の必要。地域での子どもたちの様子がかみにくい。
- ★見守り隊、支援ボランティアの組織があり、コーディネーターが第三者的に学校に関わる。また、健全育成組織の全面的バックアップがある。さらに、地区懇談会に地区民のオブザーバー的な参加があると問題の未然防止、早期解決につながり学校として本来業務に集中でき大きな力になる。頼れる手を今以上に多くしたい。

誰一人取り残さない教育の実現のために

児童の状況

●運動会後も大部分の児童は楽しそうに学校生活を送っている。しかし、▲一部に規範意識の非常に低い児童がおり、授業妨害や立ち歩きがある。言葉遣いに課題がある児童が多く、暴言や暴力がコミュニケーションの手段になっている児童もいる。このような児童に対しては様々なチャンネルを使って指導を続けている。一日も早く立ち直り社会で通用する子に育つように社会総がかりで学校に関わってもらふ必要がある。■学校の秩序を維持するため、大人として。教師の責任として「いいものはいいダメなものはダメ」と指導し続けます。

